



三菱重工グループにおける献血推進活動

三菱重工業株式会社

2024/10/4

HR戦略部 安全・健康推進センター

1. 会社概要
2. 三菱重工グループ「CSR行動指針」
3. 三菱重工グループ献血の歩み
4. 取組み状況
5. グループポータルを活用した推進

■社名	三菱重工業株式会社 Mitsubishi Heavy Industries, Ltd.	創業140年
■創立年月日	1884年（明治17年）7月7日	
■本社所在地	<p><丸の内> 東京都千代田区丸の内三丁目2番3号</p> <p><田町> 東京都港区芝五丁目33番11号</p>	1885（明治18）年当時の長崎造船所（飽ノ浦機械工場）
■取締役社長 CEO	泉澤 清次（いずみさわ せいじ）	
■資本金	2,656億円（2024年3月31日現在）	
■社員数	<p>連結：77,697名（2024年3月31日時点）</p> <p>単独：22,538名（2024年3月31日時点）</p>	

■当社のあゆみ

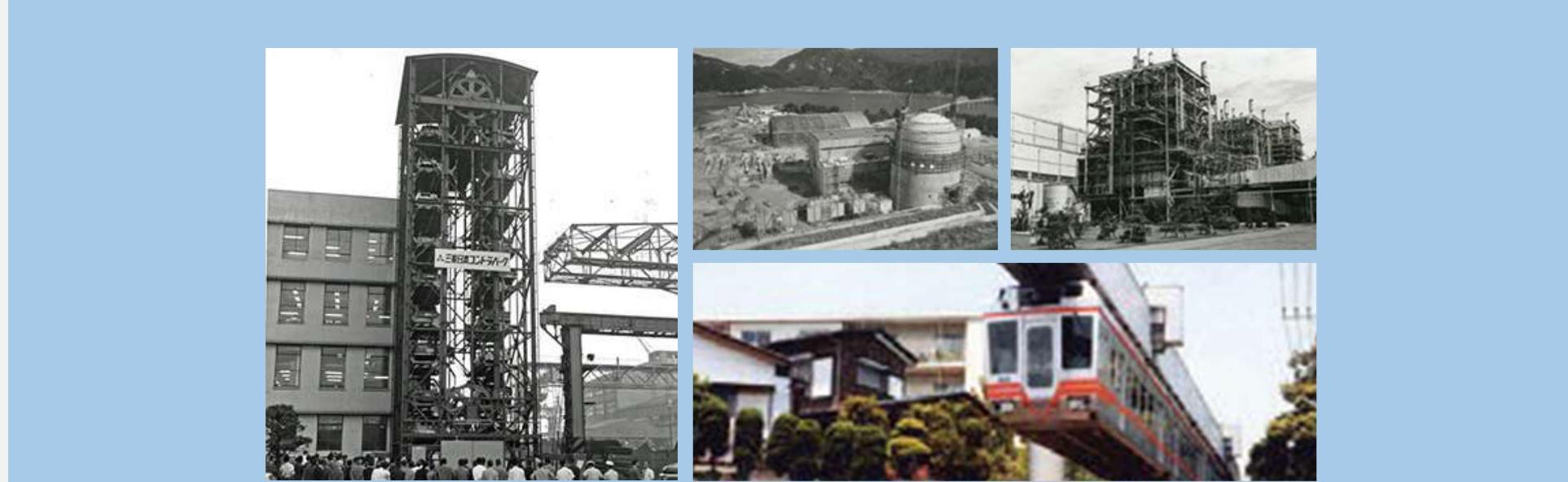


1884～1945



造船業をベースに輸送インフラを手がける

■当社のあゆみ



1884～1945

1946～1973

戦後復興、経済成長を支える

■当社のあゆみ



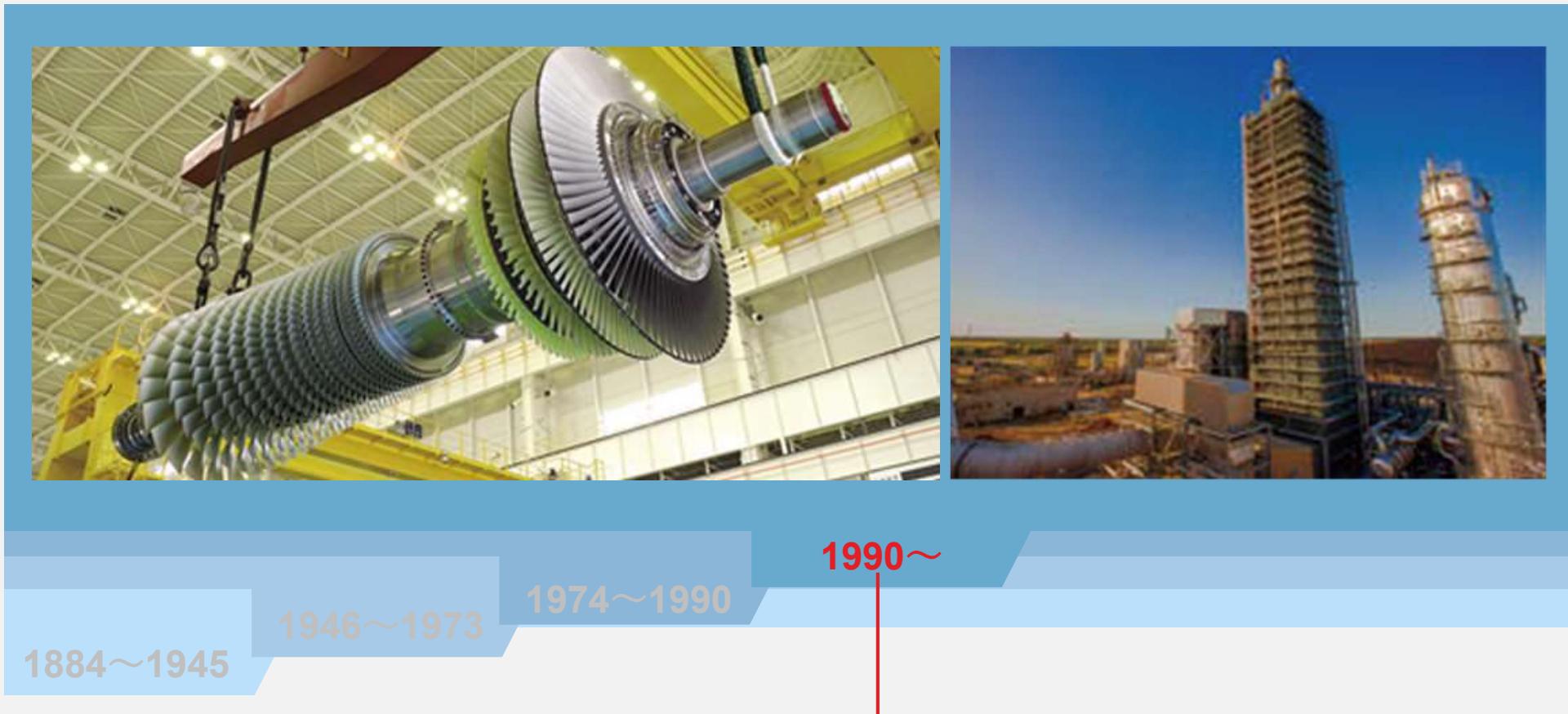
1884～1945

1946～1973

1974～1990

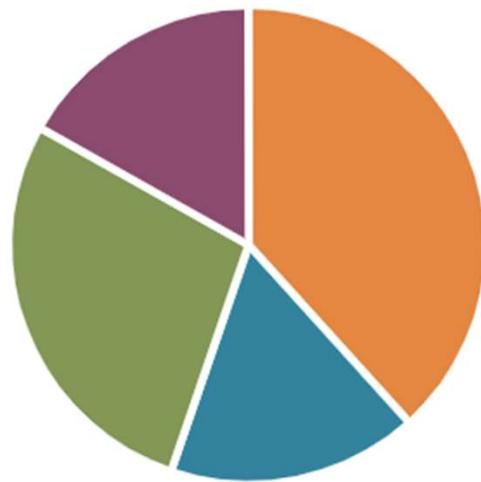
» 陸・海・空、そして宇宙へと開発を広げる

■当社のあゆみ



» 総合インフラ企業として、持続可能な社会を支える

■事業領域



連結売上収益 2023年度（実績）

46,571 億円

エナジー	37.8%
プラント・インフラ	17.1%
物流・冷熱・ドライブシステム	28.2%
航空・防衛・宇宙	17.0%

エナジー

- ・火力発電システム
- ・原子力発電システム
- ・コンプレッサ
- ・航空エンジン
- ・舶用機械、他



物流・冷熱・ドライブシステム

- ・物流機器
- ・エンジン
- ・ターボチャージャ
- ・冷熱製品
- ・カーエアコン、他



プラント・インフラ

- ・商船
- ・環境設備
- ・機械システム、他
- ・エンジニアリング
- ・製鉄機械

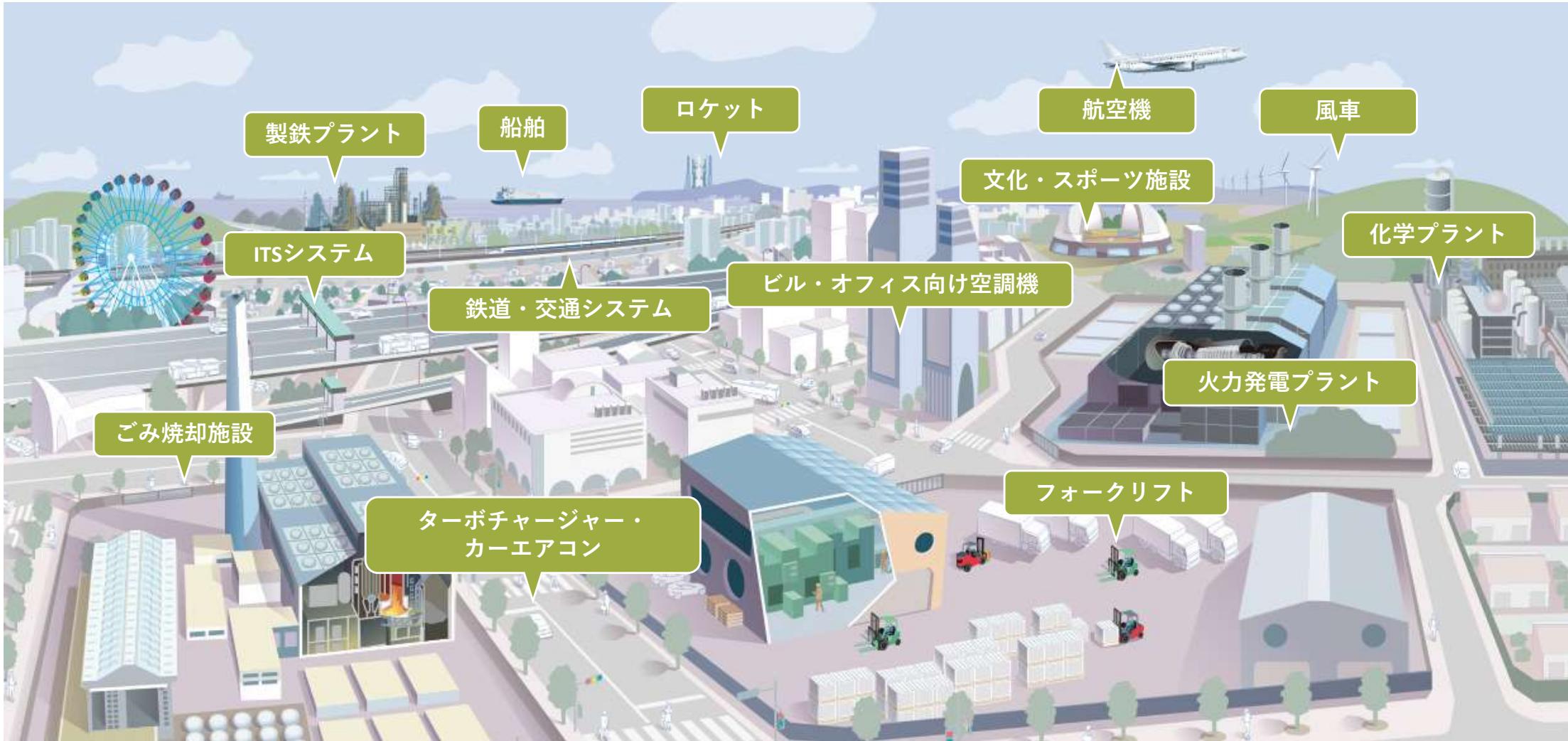


航空・防衛・宇宙

- ・民間航空機
- ・飛しょう体
- ・特殊車両
- ・宇宙機器、他
- ・防衛航空機
- ・艦艇
- ・特殊機械（魚雷）



■街のこんなところにも…



■グローバルビジネスのスケール



連結売上収益

4兆6571億円



海外グループ会社数
(連結)

192社



国内グループ会社数

68社



連結従業員数

77,697人



海外売上収益率

58%

■ 国内事業所一覧



呉工場



広島製作所



下関造船所



長崎造船所

三原製作所



名古屋誘導推進システム製作所



相模原製作所



日立工場

本社（丸の内・田町）



横浜製作所



高砂製作所



神戸造船所



枇杷島製作所



名古屋航空宇宙システム製作所

■社是

- 一、顧客第一の信念に徹し、社業を通じて社会の進歩に貢献する
- 一、誠実を旨とし、和を重んじて公私の別を明らかにする
- 一、世界的視野に立ち、経営の革新と技術の開発に努める



■グループミッション

- 長い歴史の中で培われた技術に最先端の知見を取り入れ、
- 変化する社会課題の解決に挑み、人々の豊かな暮らしを実現する

■ CSR行動指針 ■

わたしたちは、この地球にたしかな未来を実現するために、

地球との絆

例) 森林保全・清掃、種子島アカウミガメ保全調査活動

緑あふれる地球を環境技術と環境意識で守ります。

献血



社会との絆

例) 開発途上国の飢餓と先進国の肥満解消を同時解決するプログラム(Table for Two)実施

積極的な社会参画と、誠実な行動により、社会との信頼関係を築きます。

次世代への架け橋

例) 各部門の社員が講師となって理科・工作教室や中高生のキャリア教育

夢を実現する技術で、次世代を担う人の育成に貢献します。

2024/7/18

「昭和天皇記念血液事業基金献血推進賞」受賞

61年間にわたり献血活動を推進

■1963年

三菱重工グループの
国内事業所で献血事業
協力を開始

■コロナ禍

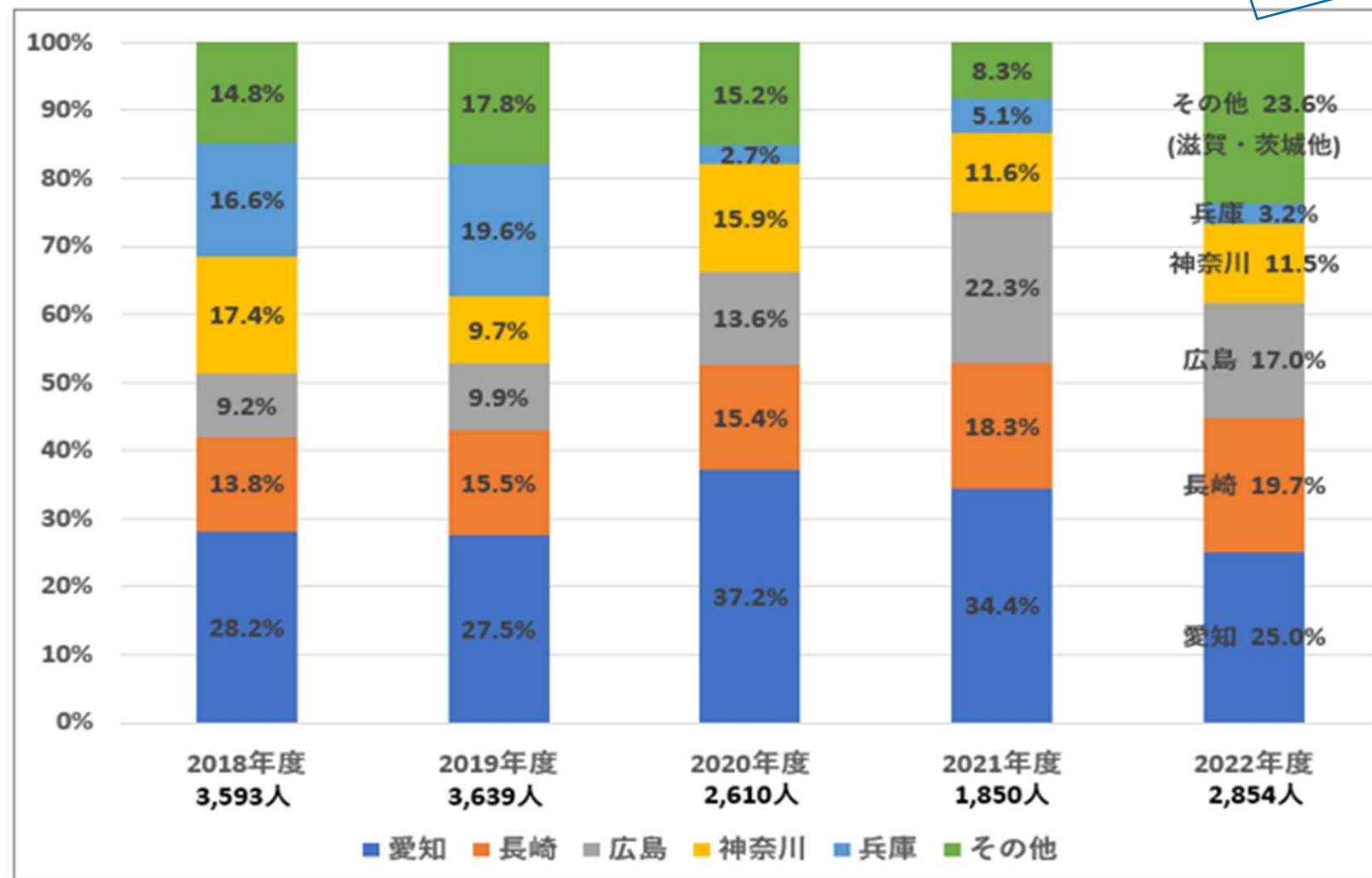
事前申し込み制の採用
など、対策を講じながら
献血活動を継続

■現在

年間平均約3,000人の
三菱重工グループ員が
献血に協力

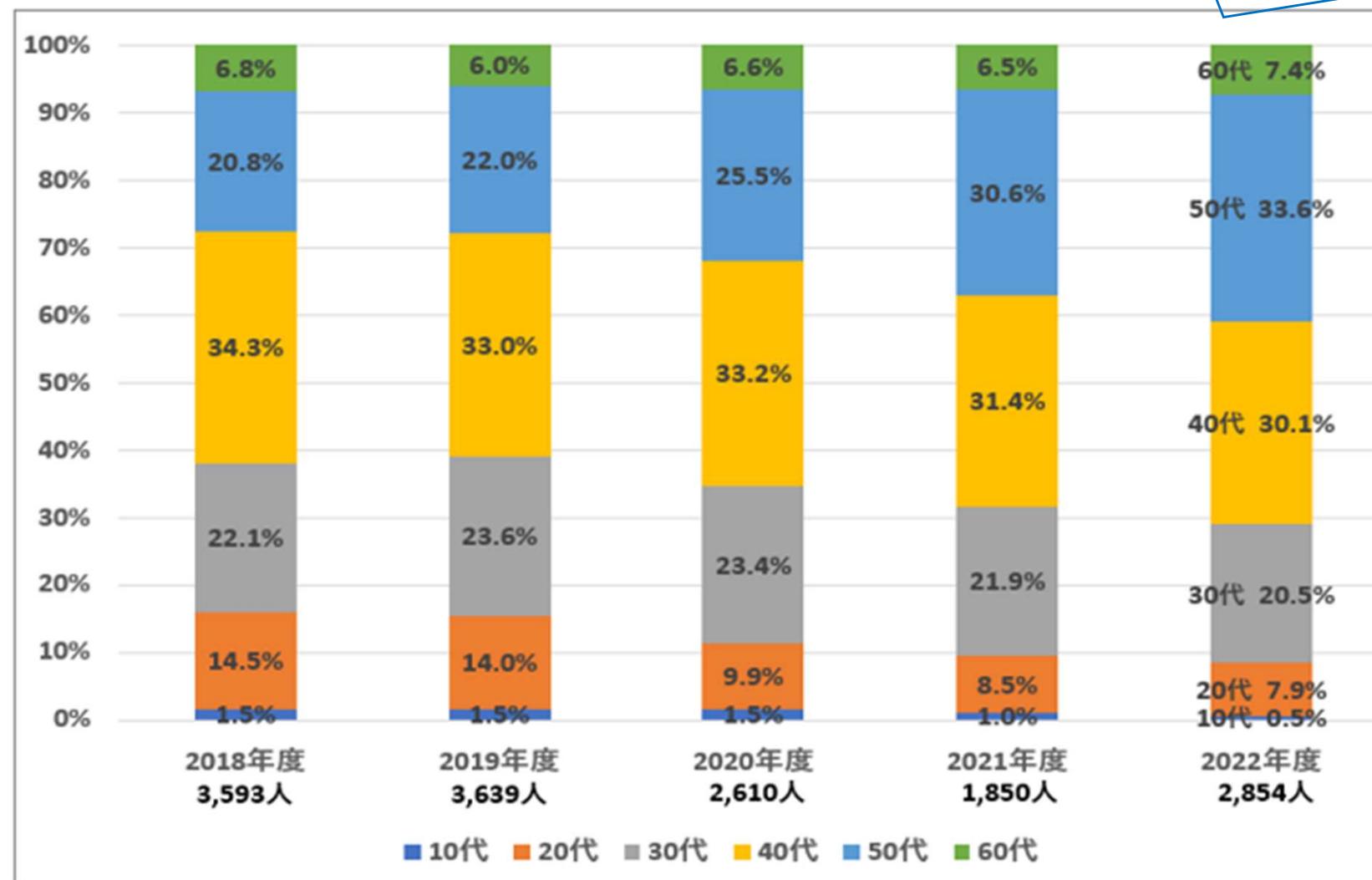
■献血者数の地区別（都道府県別）構成比率

最多は愛知県。以下長崎、広島、神奈川、兵庫と当社事業所所在の県が続く



■献血者数の年齢別構成比率

- 直近2022年度では50代が最多
以下僅差で40代、30代と続く
- 日赤の全国統計も同様の傾向



■長崎地区

「誰かの命を救いたい」という思いが皆さんを動かしている

- ・毎年のべ400人ほどが献血に協力
- ・各回で設定する献血者数目標達成のため、午前中の協力者が少ない時はメールで協力を呼びかけ → 午後には多くの人が献血車の前に足を運んでくれる
- ・「協力しようね」と社員同士が声をかけ合う職場風土が築かれている
- ・体重制限や事前の血液検査で基準に満たず献血できなかつた方から「献血に貢献できなかつた」と申し訳なさそうな声が聞かれる

<献血を促す看板>



<本館ビル前の献血バス>



■高砂地区

「事前申し込み制」で効率的な献血活動を推進

- ・コロナ禍を機に事前申し込み制を採用し、協力者間の距離を確保しながら活動を継続
- ・事前申し込み制による効果
 - 献血者数を把握し、協力者が少ない場合は追加募集など対策を実施
 - 時間を指定することで、待ち時間削減や離席時間を短縮

<献血の順番を待つ皆さん>



<構内に訪れた献血バス>



■下関地区

社内広報で積極的参加を呼びかけ

発行元 総務第五部 2024.07.05.

Shimosen Information

»» 第一回献血実施

江浦工場勤務者40名が参加

6月25日、江浦工場にて日本赤十字社による第一回目の集団献血が実施され、今回の献血対象である江浦工場勤務者のうち40名が参加しました。

下関市献血推進協議会の協力要請により、例年1回でしたが、**本年度より2回**協力することになりました。

昨今の社会問題でもある「輸血不足」の解消を一步ずつ前進させるため、第二回の献血も一人でも多くの方のご協力をよろしくお願ひいたします。

献血参加者数(下関造船所)

年	参加者数
2019	72
2020	30
2021	34
2022	55
2023	46
2024(第一回)	40

新型コロナの収束に伴い2022年に一度増加したものの年々参加者が減少しています

（当日の流れ）

- ①受付
・献血のための問診を受けます。
当日の自分の体調や献血可能な状態かどうか医師と最終確認します。
- ②献血
・献血車へ移動し、看護師による説明のもと献血開始。
- ③終了
・記念品等を受け取ることができます。
・献血後は少なくとも10分以上休憩してから帰りましょう！
～献血お疲れ様でした～

献血受付

その他詳細につきましては、日本赤十字社ホームページ内の“献血をご遠慮いただく場合”を下記QRコードからご確認ください。

第二回献血実施について
予定：12月中旬

© Mitsubishi Heavy Industries, Ltd.

<構内に訪れた献血バス>



<献血中の様子>



5. グループポータルを活用した推進

■献血協力の呼びかけ

こんなときどうする

最新情報・お知らせ

- 2024/08/08 スワンデーラー8月号 卒煙応援川柳 優秀作品②
- 2024/08/01 健幸メッセージ 原子力セグメント三社セグメント長
- 2024/08/01 健幸ニュース8月号 健診結果の活用が「安全・健康の第一歩」についてUP

おすすめ教育資料・動画

こんなときどうする

献血に協力したい

心身の健康について相談したい

病気やケガで休むとき・再出勤するとき

ストレスチェックを受ける・受けたら

健康診断／人間ドックを受ける・受けたら

海外派遣が決まったら

受動喫煙防止対策・禁煙支援

動画で気軽に学びたい

人事情報をメンテナンスしたい

5. グループポータルを活用した推進



■献血協力の呼びかけ

MHI GROUP 健幸ナビ

+ 新規 ▼



献血とは

献血とは、病気の治療や手術等で輸血を必要としている患者さんの尊い命を救うために、健康な人が自らの血液を無償で提供するボランティアです。
16~65歳までの健康な方で下表の基準に該当する方が、献血に協力することが可能です。

皆さまの思いやりで助かる命があります。全国の献血ルームや各拠点で実施する献血バスを利用し、献血にご協力下さい。

捐血の種類	全血 固定		成分献血	
	200ml	400ml	濃屈	血小板
1回目献血量	200ml	400ml	600ml以下	600ml以下(標準献血量の2倍以上)
年 齢	16~65歳 ただし、65~66歳の方の献血については、60歳に満たない日から60歳に満たない日の間に献血する場合は、献血は可能ですが、献血後は献血後7日以内での献血は受け付けられません。	男性:17~65歳 女性:17~64歳	16~65歳 女性:16~64歳	男性:18~60歳 女性:18~54歳
体 重	男性40kg以上 女性40kg以上	男性50kg以上 女性50kg以上	男性45kg以上 女性45kg以上	
最高血圧	90mmHg以上/100mmHg未満			
最低血圧	50mmHg以上/100mmHg未満			
脉 損	60回/分以上/100回/分以下			
身 高	125cm未満			
白色系帯	男性:125g/L以上 女性:125g/L以上	125g/L以上 女性:125g/L以上	125g/L以上 女性:125g/L以上	125g/L以上 女性:125g/L以上
白细胞	—	—	15万/mm ³ 以上 60万/mm ³ 以下	
(献血後)				
200ml献血	男女ともに送別後の胸に腫れ目から			
400ml献血	女性は1週間後、女性は1ヶ月後	男女ともに送別後の胸に腫れ目から		
献血過敏	男女ともに献血後1ヶ月以内に腫れ目から など、自己免疫疾患では、血管を含む(褐色)皮膚が白い皮膚(紅斑)が現れる現象(アレルギー)が現れることがあります。			
献血歴過去	200ml~400ml献血を行って (1年以内に1度以上献血) 献血歴(1年以内に2度以上献血)	—	—	
献血後飲食	男女:3kg以内 女性:4kg以内	男女:3kg以内 女性:4kg以内	未成年(12歳未満)は2kg以内に斟酌して 献血後飲食量を合せて4kg以内	
献血参考事項	献血から1週間以内に献血を行った場合は、 又は過去6ヶ月以内に献血して1ヶ月以内に献血を行った場合は、 献血より少なくとも1ヶ月以内に献血を行った場合は、 献血より少なくとも1ヶ月以内に献血を行った場合は、			

昭和天皇記念血液事業基金献血推進賞 授与

当社では各拠点健管部門取りまとめの下、1963年以降11年間にわたり、組織的に献血に協力した結果、この度、日本赤十字社から「昭和天皇記念献血推進賞※」を授与いただきました。7月18日(木)岐阜市で開催された「第60回献血運動推進全国大会」において日本赤十字社名譽副会長 秋篠宮皇嗣殿下より当社武井会長に賞状とトロフィーを授与いただきました。

本受賞は三菱重工グループ社員一人ひとりの献血への参加と、事業部門・コーポレート・各事業会社の多大な協力、ならびに各地区健管部門の地道な活動によるものであり、皆様のご協力に改めて感謝申し上げます。

今後も、三菱重工グループでは「献血」を通して、患者さんの尊い命を救うボランティア活動に引き続き協力して参ります。
献血の協力方法については、[ページ下部](#)をご覗ください。

※昭和天皇記念献血推進賞とは
日本赤十字社に下賜された昭和天皇記念血液事業基金に基づく「昭和天皇記念献血事業基金」が設立され、功績のあった個人・団体に対し毎年「献血推進賞」「献血学者賞」が授与されています。当社が授与いただいた「昭和天皇記念献血推進賞」は、日本赤十字社の血液事業の中で最高位に位置するものです。



献血の協力方法について

○ 献血ルーム・献血バスを利用して献血に協力する

全国の献血ルーム・献血バスを利用して献血をする際は、団体コードで予約（又は受付で申告）下さい。



MOVE THE WORLD FORWARD

**MITSUBISHI
HEAVY
INDUSTRIES
GROUP**